JAPAN BRAND FESTIVAL

販売資料

2019.09.10　ver.1

JOIN JAPAN BRAND FESTIVAL

パートナー募集

JAPAN BRAND FESTIVAL@渋谷ヒカリエの参加を通じて得られる価値

プラットフォームメンバーとのコネクション

マッチング

類似事例からの学び

イベント企画を通じた情報発信

イベント来場者へのリーチ

開催会場メディアでの情報発信

公式WEBサイトでの情報発信

メディアパートナーからの情報発信

流通や、デザイン、ブランディングなどを行う関係者が多数来場される為、ブランド認知アップやPR強化が見込まれます。
会場となる渋谷ヒカリエ８/、六本木デザインハブなどに集まる、ジャパンブランドに感度の高い一般層に足してのPRが可能です。
国内外を問わず、メディアを多数誘致する予定。メディアパートナーを通じて本プロジェクトの発信を行います。

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

渋谷ヒカリエ8/ COURTイベント企画、CUBE展示。

30万円(税別)

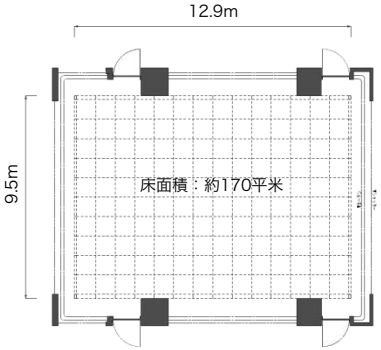
COURT：イベント企画（1h）
CUBE：展示企画（1ブース）

① 渋谷ヒカリエ企画：COURTイベント

COURTを使用し、PRイベントや発表会、トークセッションやプレゼンテーション、商談会の場として活用いただけます。

企画条件

会場：渋谷ヒカリエ8／COURT
時間：会期中の開催時間内で１時間（入れ替え時間含む）
※枠は確定した方より順番におさえていきます
運営：受付、音響などのサポートを行います（人員数は要相談）
告知・集客：公式サイト、メディアパートナー、peatix
その他：企画サポートなど要相談

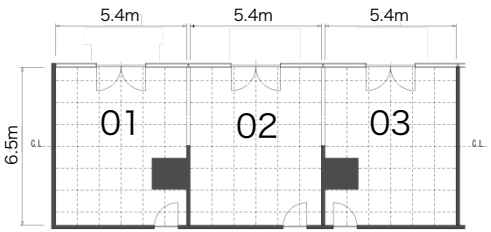


② 渋谷イベント企画：CUBE展示

CUBEを使用した展示スペース。COURTイベント企画がメインとなりますが、開催期間の発信の場として、パンフレットの設置やプロジェクトに関連する商材などを設置いただけます。

企画条件

会場：渋谷ヒカリエ8／CUBE２（会場内の配置調整中）
運営：ブースに常駐するスタッフは各自手配ください
展示：W800mm×D400mmを2段程度予定
※調整中の為確定次第共有いたします。什器は運営側で段取りします。
告知・集客：公式サイト、メディアパートナー、peatix
その他：企画サポートなど要相談



※告知に関しては十分な集客を担保しているわけではありませんので、ご自身での発信も必ず行ってください。

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

JAPAN BRAND FESTIVAL渋谷ヒカリエ企画：COURTイベント

2020年も渋谷ヒカリエでの実施が決定

具体的なメリット

- JAPAN BRANDに興味がある顧客や未来の事業パートナーにアプローチが可能

  昨年実績：3日間で約2,700人(属性がJapanBrandに興味がある人しかいない。)来場

- プレゼンテーションからワークショップまで出展者が会場で実現したい事を事務局が支援します。
- 出展者が繋がりたい相手とのマッチングを事務局がサポートします。

  事前打ち合わせ必須

- 京都ギフトショーでのJBFブースでの発信が可能
- Cubeに展示スペースを設置します。

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

渋谷ヒカリエで年に１回開催するジャパンブランドに関わる方々が一堂に介するお祭り

日程：2020年3月５日(木)～８日(日)
場所：渋谷ヒカリエ 8/ COURT,CUBE
時間：11:00-19:00（予定）
主催：JAPAN BRAND FESTIVAL実行委員会
後援：経済産業省(申請中)　　※５月１７日現在（随時追加していきます）
シティパートナー：東京急行電鉄

プログラム

①COURTイベント

②CUBE展示

渋谷イベント企画は年に一度、JAPAN　BRANDに関わる方々が一堂に会する場です。参加する方々の多くがJAPAN　BRANDに関連する関係者、興味を持つ一般来場者です。参加する方々の目的にあわせた出会いが期待できますので、目的を明確に持った情報の発信やプログラムの構築を行うことで、より精度の高い効果を生み出すことにつながります。

開催会場：渋谷ヒカリエ 8/

01　COURT
02　CUBE1,2,3
04　d47 MUSEUM
05　d47 SHOP
06　d47 食堂
07　MOV

渋谷ヒカリエ

地上３４階・地下４階の高層複合施設。渋谷駅東口に直結し、年間2,000万人以上が来館する。都内初のプラネタリウムや大劇場パンテオン、映画館などもで構成。渋谷における情報・文化の発信拠点として、渋谷の新たなランドマークとなることが期待されている。

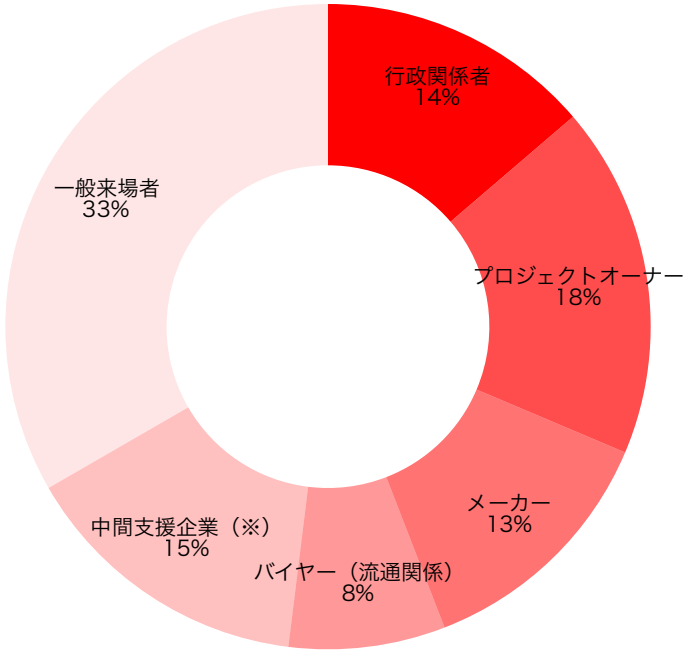
渋谷ヒカリエ8/

約170㎡の多目的スペース・コートを中心に、アートギャラリー・ワークスペース、d47食堂・ミュージアム・SHOPで構成され、日本の文化発信の拠点として活用されている。一般来場の方々は日本のブランドに関心のある方々が多く、本事業との親和性は高い。

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

渋谷ヒカリエイベントの参加属性及び会場からの情報発信。

01 過去の渋谷イベントでの参加者属性



渋谷ヒカリエ8/は日本の文化発信の拠点として活用されている。d&departmentが手がける、d47ミュージアム・食堂・ショップの影響も大きく、一般顧客の中にも日本のブランドに興味のある方が多く来場している。また、同じフロア内にクリエイティブラウンンジMOV（コワーキングスペース）があるため、クリエイティブな人材が立ち寄る可能性も高い。

02 会場メディアでの情報発信（告知）

渋谷ヒカリエ8/が運営する公式メディアで、イベント全体の告知をいただきます。来場客層と同様の感度の高い客層へのリーチが見込まれます。

03 会場が提供するサイネージでの情報発信（告知）

JRや地下鉄の渋谷駅から直結しており、その動線通路に設置されているサイネージに、イベント開催前の数週間告知が展開されます。（約2-3週間。期間は会場との調整で決定します。）

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

過去２年間のメディア掲載。関連企画を含め、告知・特集記事・レポートを放送、掲載いただいたメディアを抜粋。

MATCHA JAPAN TRAVEL MAGAZINE

Discover Japan

PREMIUM JAPAN

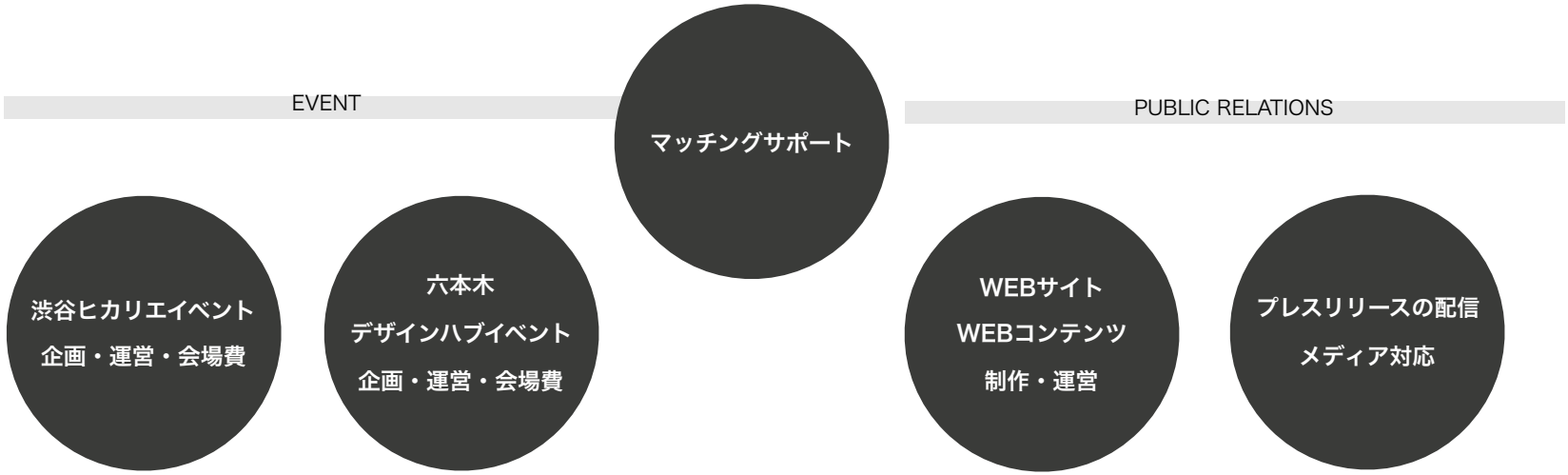
全てのものを、ものづくりの視点から。

読売新聞

※順不同。PR TIMESからの導線でのWEBメディアへの掲載や個人ブログにも多数掲載いただきましたが抜粋して掲載させていただきました。

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

プラットフォームを持続的に発展させていくためのイベント企画や
今後制作予定のWEBプラットフォームの運用のため
パートナーを募集します。
パートナーの経費は以下の名項目（**イベント・PR・事務**）に使用されます。



(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

2016-2019 RESULTS

2015年度-2018年度 開催結果

2015年度は渋谷ヒカリエでのキックオフイベント”JAPAN BRAND FESTIVAL 2016”を開催。

日程：2016年1月11日(月・祝)〜17日(日)
時間：11:00〜20:00
場所：渋谷ヒカリエ8/
主催：JAPAN BRAND FESTIVAL実行委員会
協賛：互恵印刷、沢の鶴、八洋、プラスサチ
シティパートナー：東京急行電鉄

渋谷ヒカリエ8/を会場に初めてのイベントを開催。COURTで開催するトークセッションやCUBEでの展示会を中心に展開し、JAPAN BRANDに関わる方々が集まる機会として場を構築しました。手探りながらも多くの関係者、登壇者、来場者に恵まれ、コミュニケーションの生まれる瞬間を数多く見る事ができた貴重な機会となりました。

01 Exhibition –Touch -

各ブース毎に出展者が立って説明をすることでプロエジェクトや商材についての理解を深められる場を構築。出展者と来場者が新たな事業を開始したり、出展企業に入社した来場者も。マッチングの機会としても活用されていました。

開催日：2016年1月11日（月）〜1月17日（日）
会　場：渋谷ヒカリエ 8/CUBE、aiiima1、2
来場者：3,675名

出展者（抜粋）
・MORE THAN プロジェクト
・Travel Mine Japan
・Contemporary Japanese Design
・飛騨の森でクマは踊る
・Rin crossing／中小企業基盤整備機構

02 Opening Session – Pride -

初日に開催したオープニングセッションでは元エルメス社の副社長を歴任された齋藤峰明さんを皮切りに、日本のブランドやブランディング、伝統や文化について深く探求するセッションを開催。記者会見も行い、本事業の役割や考え方について、来場者の皆さんに発信しました。

日　時：2016年1月11日（月）14:00-19:30
会場：渋谷ヒカリエCOURT　参加者：95名

登壇者（抜粋）
・齋藤峰明（Scenery International）
・林千晶（ロフトワーク）
・天津憂（ハナエモリ　デザイナー）
・小林新也（シーラカンス食堂）

03 Practitioners Session – Identity -

プラットフォームの主要メンバーが中心にトークセッションを開催。取り組む事業の紹介や、課題の共有を行い、参加者の皆さんからも様々なフィードバックをいただくなど、今後の展開にもつながる貴重な時間となりました。

日　時：2016年1月14日（木）13:00-19:30
会場：渋谷ヒカリエCOURT　参加者：95名

登壇者（抜粋）
・武田修美（MGNET）
・堀口徹（三代秀石・堀口切子）
・横石崇（&co_）
・茂木雅世（日本茶アーティスト）

04 Kickoff Party 2019

ジャパンブランドの未来をつくる！つくりたい！！と、思っている自称40歳以下の方は誰でも参加可能な場として、2017年のイベント開催に向けて、キックオフパーティを開催。登壇者は若手の実践者を厳選し、先につながる話が飛び交う、活気のある場となりました。

日　時：2016年1月17日（日）17:00-20:00
会場：渋谷ヒカリエCUBE　参加者：302名

登壇者（抜粋）
・中原直人（外務省）
・青木優（MATCHA）
・堀田卓哉（カルチャージェネレーションジャパン）
・二本柳友彦（ロフトワーク）

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

2016年度は渋谷ヒカリエで2回目となる”JAPAN BRAND FESTIVAL 2017”を開催。

日程：2017年3月1日(水)～5日(日)
時間：11:00～20:00
場所：渋谷ヒカリエ8/
主催：JAPAN BRAND FESTIVAL実行委員会
後援：経済産業省
協賛：沢の鶴、八洋、ディーフィット、伊藤園
　　富士ミネラルウォーター
シティパートナー：東京急行電鉄

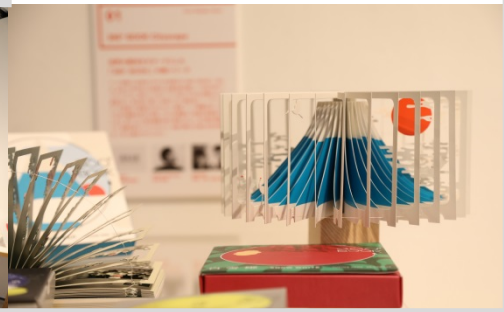
渋谷ヒカリエ8/を会場に2回目となるイベントを開催。COURTでのトークセッションやCUBEでの展示会をに加え、JETROによる海外展開の相談会、展示をより身近に体験できる展示ツアー。ワークショップなども開催して、体験の度合いを強めました。第1回に引き続き多くの接点が生まれ、プラットフォームへの期待も肌身に感じる会となりました。

01 Exhibition –Touch -

昨年に引き続き、各ブースには担当者が立ち来場者の皆さんとのコミュニケーションが闊達に行える場として設計。出展者同士が新たな仕事を始めるなど、初回同様にマッチングの機会が生まれる場となりました。

開催日：2017年3月1日（水）～3月5日（日）
会　場：渋谷ヒカリエ 8/CUBE、aiiima1、2、3
来場者：3,761名

出展者（抜粋）
・アトリエブランマント
・The Wonder 500
・伝統的工芸品産業振興協会
・ピーエスフジ
・リバースプロジェクトトレーディング



02 Opening Session – Pride -

初日に開催されたオープニングセッションでは、下川さんのスピーチを皮切りに、日本のブランドを牽引する方々のトークセッションや、デザインアワードの活用な仕方など、実践に結びつく貴重な話が飛び交い貴重な機会となりました。

日　時：2017年3月1日（水）13:30-19:00
会場：渋谷ヒカリエCOURT　参加者：99名

登壇者（抜粋）
・下川 一哉（デザインプロデューサー）
・名児耶 秀美（アッシュコンセプト）
・橋本 淳（junhashimoto）
・矢島 進二（公益財団法人 日本デザイン振興会）

03 Practitioners Session – Identity – kickoff Party 2018

昨年は日を分けて開催した次年度へのキックオフを同日に開催し、プラットフォームを牽引するプロジェクトオーナーが中心となってプログラムを構成。貿易通貨やジャパンハウスの展望、バイヤーの目線など様々な切り口で展開されるセッションに参加者の皆さんも真剣に聞き入っていました。

日　時：2017年3月5日（日）12:00-19:00
会場：渋谷ヒカリエCOURT　参加者：125名

登壇者（抜粋）
・Peter Kahane（AMEICO INC.）
・西堀 耕太郎（株式会社TCI研究所）
・國定 勇人（新潟県三条市 市長）
・山田 遊（バイヤー／株式会社メソッド）

04 Exhibition Tour

展示の内容って見ているだけではなかなか入ってこないし、込められた思いに触れられずに見流してしまうこともありがち。来場者の皆さんにより深く出展者の思いに触れていただこうとツアーを開催。想定以上の申し込みをいただき、闊達な意見交換が行われて充実したツアーとなりました。

日　時：2017年3月1日-5日
会場：全会場　参加者：50名

ツアーコンダクター
・伊藤薫（YILU, INC.）

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

2017年度は渋谷ヒカリエで3回目となる”JAPAN BRAND FESTIVAL 2018”を開催。

01 Exhibition –Touch -

専用の展示什器を用意し、より統一感のある展示空間を実現しました。
各トークセッションと展示ブースが連動し、来場者に、より各出展者の活動が伝わるように設計しました。

開催日：2018年3月2日（金）～3月4日（日）
会　場：渋谷ヒカリエ 8/CUBE
来場者：2,200名

出展者（抜粋）
外務省ジャパン・ハウス
丹波篠山市
独立行政法人　中小企業基盤整備機構
高島晒協業組合
JFN

日程：2018年3月2日(金)～4日(日)
時間：11:00～20:00
場所：渋谷ヒカリエ8/
主催：JAPAN BRAND FESTIVAL実行委員会
後援：外務省 / 関東経済産業局 / クールジャパン機構 / 経済産業省 / 四国経済産業局 / 渋谷区 / 中国経済産業局 / 中部経済産業局 / 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 / 内閣府沖縄総合事務局 / 公益財団法人 日本デザイン振興会 / 一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 / 北海道経済産業局　（50音順）

シティパートナー：東京急行電鉄 株式会社

協賛：株式会社八洋 / 富士ミネラルウォーター株式会社 / 与謝娘酒造合名会社（50音順）

今回3回目となる本イベントは、トークイベント / アイディアソン・ハッカソン / 展示 の3つの要素で構成され、ファッションテキスタイル / 工業製品 / 伝統工芸品 など、　日本全国の　各地域がグローバル市場を目指して開発した最新の商品やプロジェクトを紹介しました。出展者それぞれが抱く熱い想いを肌で感じる3日間となり、計2,200名を超える人々

02 TALK Session

メイン企画となるトークイベントでは、各出展者が日々異なる21のセッションを開催し、日本の伝統技術とテクノロジーを融合させたIoTを展開する「OQTA（オクタ）」や、愛媛の伝統あるシルク産業を再興する「愛媛シルクプロジェクト」を実施する株式会社リバースプロジェクトトレーディング、「Japan House地域活性化プロジェクト」など、　グローバル市場へ向け、ジャパンブランドを発信する多彩な出展者らが想いやその活動の意義を語りました。

会場：渋谷ヒカリエCOURT　参加者：785名

登壇者（抜粋）
・原研哉（デザイナー）
・モーリー・ロバートソン（ジャーナリスト）
・国定勇人（三条市市長）

03 ハッカソン（Hackathon）／アイデアソン（Ideathon）

3月3日、4日には、「旅を快適にする日本のものづくり技術」をテーマに、朝倉染布株式会社、高島晒協業組合の2企業によるアイデアソン・ハッカソンを実施致しました。参加者たちが、実施企業の世界に誇る技術を知り（ハック）、新しい展開をアイディエーション（発想）し、製品化を検討するもので、朝倉染布株式会社は「ナノテク超撥水×トラベルグッズ」、高島晒協業組合は「高島ちぢみ×旅先のリラックスウエア」を題材に、公募で選ばれた参加者たちがそれぞれにプロダクトアイデアを出し合い、発表を行いました。

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

2018年度は渋谷ヒカリエで4回目となる”JAPAN BRAND FESTIVAL 2019”を開催。

01 Exhibition –Touch -

専用の展示什器を用意し、より統一感のある展示空間を実現しました。各トークセッションと展示ブースが連動し、来場者に、より各出展者の活動が伝わるように設計しました。

開催日：2019年3月1日（金）～3月3日（日）
会　場：渋谷ヒカリエ 8/CUBE
来場者：1,925名

出展者（抜粋）

徳島県
江東区
Brandland JAPAN (経済産業省事業)
ミマライス

日程：2019年3月1日(金)～3日(日)
時間：11:00～20:00
場所：渋谷ヒカリエ8/
主催：JAPAN BRAND FESTIVAL実行委員会
後援： クールジャパン機構 / 経済産業省 / 四国経済産業局 / 中部経済産業局 / 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 / 内閣府沖縄 / 北海道経済産業局　（50音順）

シティパートナー：東京急行電鉄 株式会社

協賛：与謝娘酒造合名会社

JAPAN BRAND FESTIVAL 実行委員会は、2019年3月1日（金）～3日（日）の3日間、渋谷ヒカリエ「8/ 」（東京都渋谷区）のCOURTとCUBEを会場に、ジャパンブランドとそれに関わる人々が日本全国から 集結する、年に一度のイベント「JAPAN BRAND FESTIVAL 2019」を開催致しました。イベントは、3 日間で2,700名を超える人々が来場し、大盛況ののちに終了しました

02 TALK Session

今回4回目の開催となる「JAPAN BRAND FESTIVAL 2019」は、ファッションテキスタイル / 工業製品 / 伝統工芸品 など、日本全国の各地域がグローバル市場を目指して開発した最新の商品やプロジェクトを 国内外に向けて展開する、19組の事業者が出展しました。メイン企画となる「COURT」でのトークイベ ントでは、日々異なる22のトークセッションが行われ、ジャパンブランドを発信する多彩な出展者らが想いやその活動の意義を語りました

会場：渋谷ヒカリエCOURT　参加者：752名

登壇者（抜粋）
・ジャクソン・タン（クリエイティブディレクター）
・鶴本晶子（ブランドディレクター）
・西堀耕太郎（日吉屋代表）

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

六本木デザインハブでは過去７度のトークイベントを開催しました。（以下抜粋）

主催：JAPAN BRAND FESTIVAL実行委員会
共催：公益財団法人日本デザイン振興会
場所：東京ミッドタウン・デザインハブ
会場：リエゾンセンター
モデレーター：デザイン振興会、JBF
※開催ごとにテーマとゲストを設定

今より少し先を見据えた取り組みを紹介しながら、来場者の皆さんと対話型で進めるイベント「TALK SALOOOON」。プレゼンテーションやトークセッションを中心に開催しています。六本木の来場者層も意識してデザインやクリエイティブ領域で活躍する方の比重を多めに設計しています。

01 TALK SALOOOON Vol.01

初回はご自身のプロデュースでも数多くの賞や実績を持ち、セレクトショップ・コンセントを手がける名児耶さんをゲストに迎え、デザインの視点からジャパンブランドの今後の展開を参加者の皆さんと共有。「JAPANPAGE」を手がける澤田さんも加わり、物を売る視点でのお話に参加者の皆さんも興味深く聞き入っていました。

期日：2016年7月12日（火）18:00〜21:00
参加者：64名

トークセッション登壇者
・名児耶 秀美（アッシュコンセプト 代表取締役）
・澤田 且成（アイディーテンジャパン株式会社）
・川口 真沙美（公益財団法人日本デザイン振興会）

02 TALK SALOOOON Vol.02

地域産業のプロデュースを数多く手がけるセメントプロデュースデザインの金谷さんをお迎えして、ご自身の活動や考え方を共有。全国から500の商材を選定し、国内外に発信するThe 「Wonder500」を手がける池嶋さんも参加して、ジャパンブランドが抱えている現状やこれからの課題を考える貴重な機会となりました。

期日：2016年12月12日（火）18:00〜21:00
参加者：45名

トークセッション登壇者
・金谷 勉（CEMENT PRODUCE DESIGN 代表取締役）
・池嶋 徳佳（株式会社リヴァンプ）
・矢島 進二（公益財団法人日本デザイン振興会）

03 TALK SALOOOON Vol.03

新潟県燕三条「工場の祭典」 第５回副実行委員長の山田さんをゲストに迎え、起点から現在までを裏話を交えて共有。後半ではANAの梶谷氏による航空業界初のクラウドファンディング「Wonderfly」のビジョンを話し、ローカルからグローバルへ挑戦する参加者の皆さんにとって、大きな知恵の共有の場となりました。

期日：2017年9月27日（水）18:00〜21:00
参加者：20名

トークセッション登壇者
・山田立（株式会社玉川堂　番頭）
・梶谷 ケビン（ANAホールディングス株式会社）
・矢島 進二（公益財団法人日本デザイン振興会）

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

更新履歴

Ver.01_20190926：本書発行

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee

JAPAN
BRAND
FESTIVAL
2019
2019.3.1 – 3.3
Shibuya Hikarie 8/
JAPAN
BRAND
FESTIVAL
2019
2019.3.1 – 3.3
Shibuya Hikarie 8/
ヨサムスメ
yosamusume shuzou

お問い合わせ

JAPAN BRAND FESTIVAL

http://jbfes.com/

株式会社ロフトワーク　担当：二本柳

株式会社Culture Generation Japan　担当：堀田

E-mail : info@jbf.com

(c)2019 JAPAN BRAND FESTIVAL Executive Committee